

CMSでのCallbridgeおよびXMPP接続シグナリングの分析

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[シグナルフロー](#)

[説明](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Meeting Server(CMS)のCallbridgeおよびExtensible Messaging and Presence Protocol(XMPP)コンポーネントが相互に検出および通信する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Meeting Server
- Callbridgeコンポーネント
- XMPPコンポーネント
- Webリアルタイム通信(WebRTC)フレームワーク

使用するコンポーネント

- CMS 2.5

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

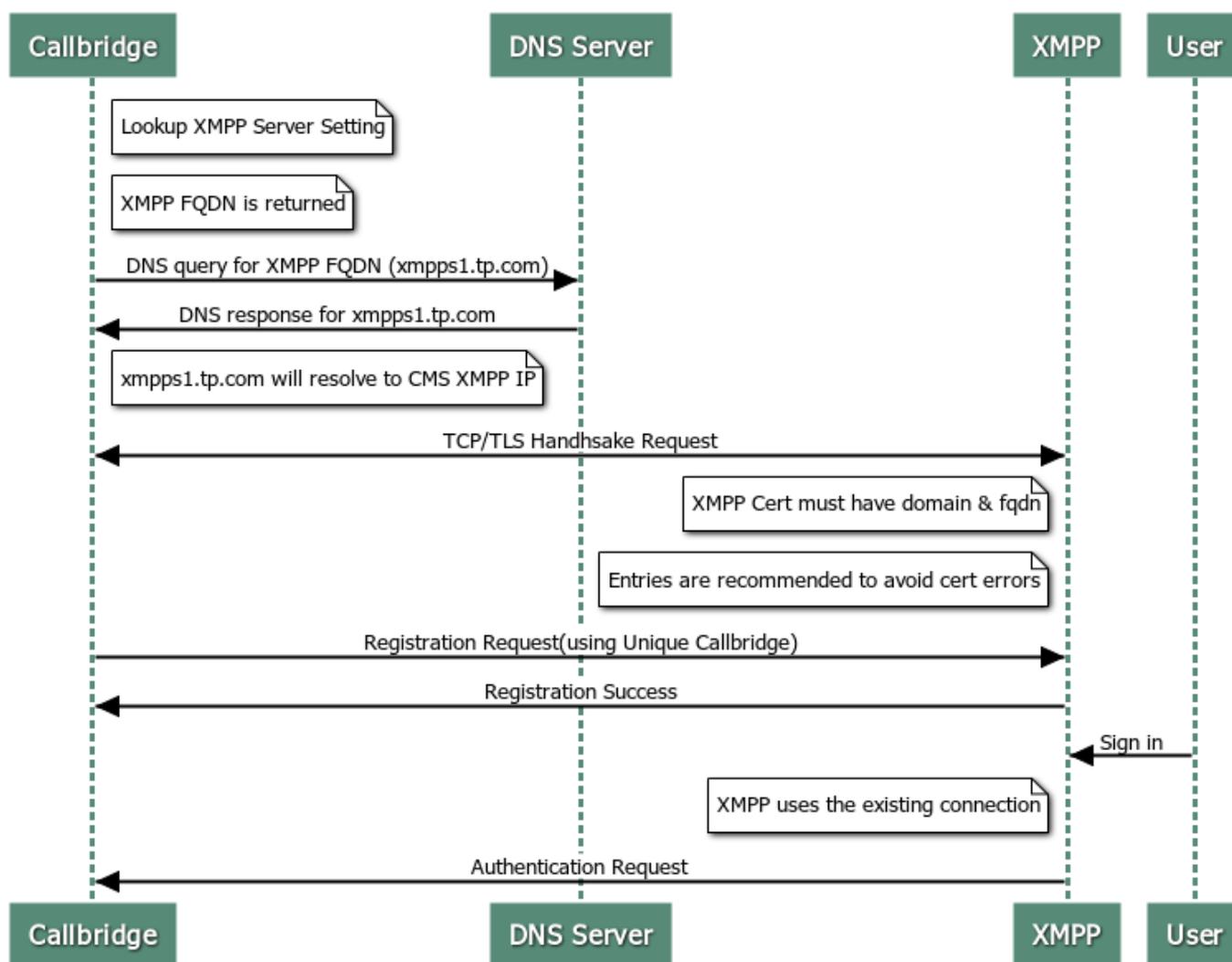
背景説明

WebRTCは、インターネットブラウザでリアルタイム通信を有効にするWeb用のオープンフレームワークです。これには、音声およびビデオチャットアプリケーションで使用されるネットワーク、音声およびビデオコンポーネントなど、Web上の高品質な通信のための基本的な構成要素が含まれます。

会議に参加するか、WebRTCプラットフォームにログインするには、Cisco Meeting ServerのXMPPコンポーネントが必要です。WebRTCクライアントから新しいログイン要求がXMPPに到達すると、XMPPはCallbridgeと通信して接続を開始します。

シグナルフロー

How Callbridge connects to XMPP



説明

1. WebユーザからXMPPにログイン要求が到着する前に、XMPPはCallbridgeにすでに接続されている必要があります。

注：CallbridgeとXMPP接続の設定については、このドキュメントでは説明していません。詳細については、次のドキュメントを参照してください。[CMS 単一統合の設定および統合](#)

2. Callbridgeは、Application Programming Interface(API)/configuration/xmppWebXMPPXMPPサーバの完全修飾ドメイン名(FQDN)およびポートの詳細を取得します。
3. デフォルトでは、CMS管理Webインターフェイスのサーバアドレス設定で明示的に指定されていない限り、Callbridgeはポート5223のXMPPへの接続を試行し、この情報を検証するには、[CMS] > [Configuration] > [General]に移動します。
4. 複数のXMPPサーバを使用する展開の場合、[Server Address]フィールドは空白のままにします。このシナリオでは、Callbridgeはrecord_xmpp-component._tcp.example.comに対してSRVルックアップを実行します。example.comは、[ドメイン]フィールドのエントリに置き換えられます。
5. Callbridgeは、XMPP FQDNを取得するためにドメインネットワークサービス(DNS)ルックアップを実行します。
6. Callbridgeは、返されたIPアドレスとポートに接続します。
7. CallbridgeとXMPPの間で伝送制御プロトコル(TCP)ハンドシェイクが発生します。これは、CallbridgeとXMPPの交換証明書を意味します。
8. 証明書エラーを回避するには、XMPP証明書にXMPPサーバのXMPPドメインとFQDNをサブジェクト代替名(SAN)エントリとして含める必要があります。
9. 接続が確立されると、Callbridgeは一意的Callbridge IDとパスワードを使用して登録要求をXMPPサーバに送信します。

注：Callbridge IDとパスワードは事前に設定しておく必要があります。これらの設定は、このドキュメントでは扱いません。詳細については、次のドキュメントを参照してください。

[CMS 単一統合の設定および統合](#)

10. XMPPサーバはCallbridge IDとパスワードを検証し、登録成功応答を返信します。
11. これにより、CallbridgeとXMPP間のアクティブな接続が確立されます。
12. この接続は、新しいログイン要求が着信したときにXMPPによって使用されます。